

## 9月29日：銀行、消費、エネルギーセクターの利食い売りで下落

昨日は銀行、消費、エネルギーセクターに利食い売りがかさみ、朝方の上昇を帳消しにして下落して引けた。

ホーチミン取引所のVNインデックスは0.93%下落し、903.98ポイントで引けた。

朝方にVNインデックスは0.55%上昇する場面もあったが、前場の半ばにかけて市場のモメンタムは弱気に転じた。VN指数は月曜日に0.47%上昇していた。

直近上昇していた銀行、消費、エネルギー関連が利食い売りの対象となり、相場の重しとなった。

これら3セクターのうち、ビールのサベコ (SAB)、消費のマサン (MSN)、製糖のタインタインコン (SBT)、エネルギーのペトロベトナム (PVD)、銀行のベッティンバンク (CTG)、テックコムバンク (TCB)、ベトコムバンク (VCB)などの大型株が売られた。

銀行セクターでは、7月31日から36.6%上昇していたサコムバンク (STB)が3.6%下落した。

こうした大型株の下落により、これらで構成するVN30指数は0.82%下落し856.20ポイントとなった。

10月15日限のVN30先物は1.02%下落して854.1ポイントとなった。投資家が市場の短期的な見通しを弱気に見ていることを示していると、サイゴンハノイ証券 (SHS)は見ている。

その他では不動産、保険、IT、卸売、家電なども振るわなかった。

ホーチミン市場の中型株、小型株指数もそれぞれ1.12%、0.65%下落した。

反対に、小売、ゴム、建設は底堅く、相場の一層の下落を食い止めた。

統計局 (GSO)は昨日、ベトナムの今年1~9月のGDP成長率を発表したが、前年同期比+2.12%と過去10年で最低水準となった。

GSOによると、今年9月までの経済を牽引したのは建設セクターで、同セクターは前年同期比+3.08%で、全体の成長率のうちの58%を寄与した。

「VN インデックスが 920-930 ポイント付近に入ると利食い売り圧力が高まる」タインコン証券はデイリーレポートで述べている。

「第3四半期決算の結果次第で銘柄の選別が進み、株価の動向は異なるだろう」と同証券は見ている。

「直近の上昇を経て、市場が安定化するには、VN インデックスが 895-905 ポイント近辺で値固めできるかどうかだろう」と同社は予測している。

ハノイ市場では、HNX 指数が 1.04%下落し、131.74 ポイントで引けた。同指数は月曜日、1.22%上昇していた。

両取引所の出来高は 5 億 2,570 万株、売買代金は 9.47 兆ドン（約 4 億 8 百万ドル）だった。

外国人は 6,174 億ドンを売り越し、前日から 58.8%増加した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。